

シルバーくだまつ

星のさと

No.55

平成27年6月20日

編集発行／公益社団法人下松市シルバー人材センター広報委員会 下松市潮音町2丁目16-8 TEL (0833) 44-2600 印刷／睦美マイクロ株式会社



平成27年度 定時総会

平成27年度下松市シルバー人材センター定時総会が5月29日（金）10時から下松市勤労者総合福祉センターにおいて、井川市長ほか多数のご来賓をお迎えし、会員494人（含む委任状）出席のもと盛大に開催されました。

宮川理事の総合司会により、土田理事の開会宣言・市民憲章唱和、官田理事長の挨拶に続き、ご来賓の中から下松市長・山口県周南県民局長・下松市議会議長の3名の方に代表してご祝辞をいただきました。

議長には石田幸宣氏が選出され、村岡事務局長が平成26年度事業報告・収支決算報告・理事の選任についての3議案を提案し、原案どおり承認決議されました。

また、議事に先立ち理事長より、多年の功労に対して感謝状と記念品が贈呈（3人）され、永年在籍会員40人（20年在籍2人、15年在籍7人、10年在籍31人）に対して、表彰状並びに記念品が授与されました。

本日、平成27年度下松市シルバー人材センターの定時総会に、会員の皆様には、多数ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

また、井川下松市長をはじめ、ご来賓の方々には、ご多忙のところをご臨席賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、シルバー人材センターの事業実績は地域社会貢献のバロメーターとも言われておりますが、当センターの平成26年度の事業実績を平成25年度と比較し

ごあいさつ



理事長
官田 敏彦

てみますと、会員数は40名減少し、一般労働者派遣事業を含めた受注件数は30件増加しましたが受注契約金額は、約1、573万円の減少となり、我が国の経済状況は、「緩やかな持ち直しの動き」にあるとはいえ、シルバー人材センターを取り巻く環境は、依然として先行き不透明な状況にあります。

加えて昭和22年から昭和24年生まれの、いわゆる団塊の世代の方が定年を迎え、また65歳までの継続雇用や年金支給

開始年齢の段階的引き上げなど、高齢者を取り巻く社会環境は大きく変化しております中で、シルバー人材センターは、地域の高齢者の活動を支えるためには不可欠な存在であり、その役割は、ますます重要となっております。

こうした中、シルバー人材センターの基本理念であります「自主・自立・共働・共助」のもと、平成25年度に策定いたしました「第二次中期基本計画」を会員の皆様、役職員が一体となって計画的に実

行し、引き続きセンターの効率的な運営に努めますとともに、就業機会の開拓、会員の確保・拡大、安全、適正就業の推進に努めて参りたいと思っておりますので、今後とも関係各位のあたたかいご理解とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます、ご挨拶いたします。



平成26年度 事業実績

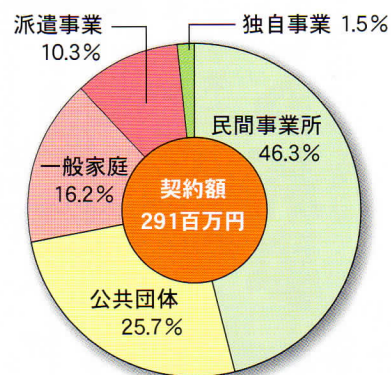
我が国の経済情勢は、緩やかな回復傾向を続けているといわれていますが、反面、個人消費は弱く、本格的な景気回復には及んでいないのが実情です。

こうした中、当センターの平成26年度の事業実績（一般労働者派遣事業も含む）は、昨年度に比べて受注件数が30件の増、受注契約金額は約1,573万円の減となりましたが、収支決算においては、約17万円の収益増となりました。

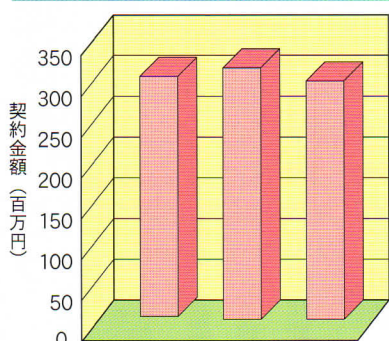
就業率は、前年度に比べて、5.1ポイントの増となりました。

また、会員・役職員が一丸となって、地域社会からの理解・協力を得ながら、センター事業の推進を図り就業基盤の拡大に努めてまいりました。

受注先別契約金額の割合



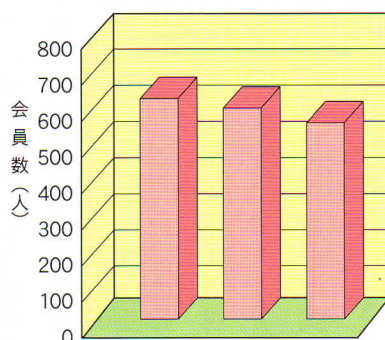
受注契約金額の推移 (一般労働者派遣事業も含む)



	平成24年度	平成25年度	平成26年度
契約金額	298	307	291

(単位：百万円)

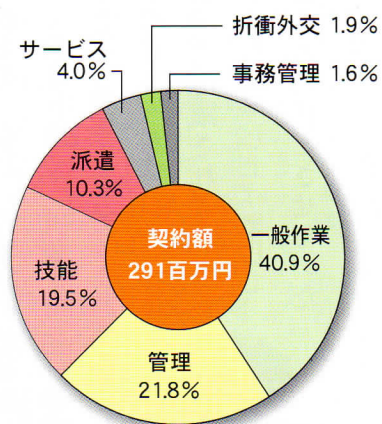
年度末会員数の推移



	平成24年度	平成25年度	平成26年度
会員数	622	598	558

(単位：人)

職種別契約金額の割合



受賞者名簿 (敬称略)

【理事長感謝状】(3人)

安田 務 原田 孝久 沖田 誠

【理事長表彰】

20年在籍会員(2人)

原田 洋二 中嶋 初美

15年在籍会員(7人)

益田 悟 藤田 春馬 市川 雅子 清木 浩治 木村 幸子 小林 敏子 石本 綾子

10年在籍会員(31人)

片桐 辰男 近藤 悦子 湊 俊夫 武居 健治 田窪 俊江 藤井日出磨 浜垣 広
 中山 康子 田鹿 壮三 村上 隆利 玉寄 正光 三奈木喜久子 近藤恵美子 竹本 和美
 有間 孝明 白石 冴子 古谷 轟士 坂根 年子 岡本 稔子 有海 友彦 武智 昭
 相本 康雄 矢野 勝彦 渡辺紀美子 岩本 和代 井上 智開 上林 桂 有田 敦
 世良 隆幸 高杉 千春 佐藤 雄二

就任あいさつ

新事務局長 村岡博徳



このたび、原田前事務局長のあとを受け事務局長に就任することになりました。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

下松市シルバー人材センターは会員の皆様のためぬご努力と関係各位の温かいご協力とご支援によりまして、着実な発展を遂げております。

さて、わが国の経済は緩やかであるが回復基調にあると言われていますが、私たちが生活をする上では、実感するに至っていないのが実情です。また、高齢者人口の急速な増大の一方、少子化も確実に進行しており、高齢者が社会から支えられるだけでなく、社会を支える役割を担うことが期待されるようになってきています。

地域社会の活性化を支える組織として、シルバー人材センターの役割が、今後ますます重要になってきているこのような時期に、事務局長へ就任するということは、私にとりましては大役であります。気持ちを新たにしてい微力ながら職責を果たしてまいりたいと思っております。

皆様方のご支援・ご協力を重ねてお願い申し上げます。ご挨拶にかえさせていただきます。

退任あいさつ

前事務局長 原田孝久

平成22年4月に事務局長に就任し、さらに同年の通常総会において常務理事に選任をいただいていた以来、5年の任期中、種々の出来事がありました。特に「公益社団法人」への移行手続きに携わったことなど、微力ではございましたが、お手伝いできました事は、ひとえに皆様方のご指導とお力添えの賜にほかならず、ここにあらためて皆様のご厚情に対しまして深く感謝申し上げます。

今後、さらにシルバー人材センターを取り巻く環境の変化は大きくなると思いますが、反面、超高齢社会を迎えた我が国にとってその役割はますます重要性を増すものと確信しております。

今後とも、会員・役職員の皆様が一致結束され「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、「地域から信頼され期待されるセンターづくり」を目指し、ご健康で活躍されますよう心から祈念申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。



新旧役員の紹介

定時総会で、次の方が役員に就任されました。
(順不同・敬称略)

役職名	氏名	分担業務等
理事	官田敏彦	理事長(安全委員長)
理事(新任)	村岡博徳	常務理事 事務局長
理事	清水信男	市経済部長
理事	土田芳大	(総務・安全)
理事	宮川照之	(総務委員長・広報)
理事	栗岡宗弘	(総務・安全)
理事	松永静子	(総務・広報)
理事	岡田米蔵	(広報・就業)
理事	玉本章嘉	(就業開拓委員長・総務)
理事	波多野悦子	(就業・安全)
理事	吉山俊則	(広報委員長・就業)
理事	岡本誠治	(広報・就業)
理事(新任)	内山紘一	(広報・安全)
監事	神田佳郎	会員
監事	藤本泰延	市総務部長

今回、次の2名の方が退任されました。
シルバー人材センター発展にご尽力いただきありがとうございます。

前理事	原田孝久	前常務理事 前事務局長
前理事	沖田 誠	(前広報委員長)

おいしく減塩



下松市健康増進課
管理栄養士

塩瀬 采美

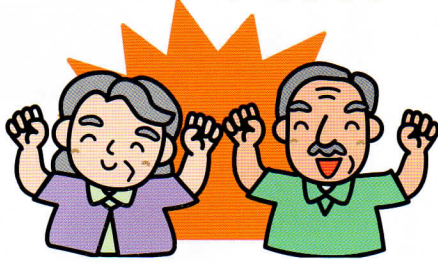
「塩分は控えめに」「塩分の取りすぎは、高血圧、心臓病や脳卒中の原因」という言葉はよく聞きますよね。

高血圧は生活習慣病のひとつで、心臓病・脳卒中・腎臓病など命に係わる疾患を招く恐れもあり、予防が非常に重要です。

「平成25年国民健康・栄養調査」によると、国民1人1日当たりの食塩摂取量の平均値は9.8gで

した。山口県では男性11.6g、女性9.1gと特に男性の塩分摂取が高めです。世界保健機関(WHO)は、世界中の人の食塩摂取量の目標を1日当たり5.0g未満としています。また、「日

健康百話



本人の食事摂取基準2015年版」では、男性1日当たり8.0g未満、女性1日当たり7.0g未満とされています。さらに、日本高血圧学会は、高血圧予防のために男女とも1日当たり6.0gを推奨しています。

日本食は、さまざまな利点があるものの、塩分が多いことも大きな特徴です。

今回の食事摂取基準改定をきっかけに、日々の食生活での塩分に注意して「減塩」を心がけてみませんか？

■減塩のポイント

- ① 新鮮な食材を使い、食材本来の持ち味を活かす。
- ② だしをきかせる。
- ③ 香味野菜を上手に使う。
- ④ 酢などの酸味をきかせる。
- ⑤ しょうゆやソースは料理にかけないで、小皿に入れ、つけて食べる。
- ⑥ 汁物は具沢山にする。
- ⑦ 塩分の多い加工食品に注意する。



減塩の基本は、「今より減らす」ことです。出来ることからはじめてみましょう。

「平成27年度安全・適正就業推進大会」を開催

安全及び適正就業の徹底と意識の高揚を図るため、本年度も次のとおり開催します。

万障繰り合わせてご参加ください。

▼日時 平成27年7月11日(土)

10時～12時

▼場所 スターピアくだまつ

展示ホール

▼内容

○講演

「健康長寿の6つのポイント」

講師 下松市役所健康増進課

○表彰

「安全就業改善提案」

「安全標語」

最優秀賞・優秀賞

○発表

・最優秀作品紹介

「安全就業改善提案」

・体験発表

「老いて若返り」

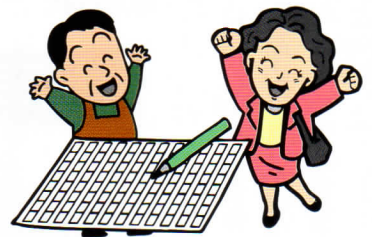
・事例発表

「脚立の転倒防止対策」

・安全宣言 下松市市道管理班

会員のひろば

(敬称略)



下松2班
松橋イツノ
(家事援助班)

74歳の時、仕事を退いたところ、体のあちこちが痛むようになりました。

対策として体を動かす仕事をすると思い入会して7年余りになります。

今は公民館の清掃に就いております。

私の人生に訪れた、天からの授かり物と感謝しています。公民館で多くの方とお会いでき、50年来の夢であった絵画・書道の受講の機会を得ることが出来ました。

健康維持と心配りを大切にし、

皆様から学んだ知識・礼節・思いやりの心を大切に守りながら、清掃で、皆様にご恩返しが出来ればと思っています。



下松3班
飯田陽子
(筆耕班)

シルバー人材センターの会員になって十三年、筆耕班に籍を置いて七年目になります。

字を書くことに興味がありましたので、仲間に入れてもらいました。

月一回の勉強会ですが、十三名がそれぞれの思いで参加しています。

内容としては、楷書・賞状・年賀状・宛名書など色々です。

また時には、仲間の方による「講話」それに対しての意見交換など、お互いの親睦を図りつつ勉強が進められています。

私は、時々賞状書のお仕事をさせていただいています。勉強と思いい生懸命頑張っています。

これからも、奥の深い「書」について仲間の皆さんにご指導いただき、月一回の勉強会を楽しく、健康に氣をつけて続けていきたいと思っています。



久保3班
岡 勝真
(便利屋班)

入会して4年になります。

当初は、就業の依頼を受けたにもかかわらず、時間・曜日が合わず断ったり(すみませんでした)しました。

平成26年度より便利屋班で就業しています。

発注者の方は、高齢の方が多く要望も多種多様で、センターの対応範囲内の就業請けとなります。

不用品の処理・処分を請けた場合、要望により分解・分別して一般のごみに出す。大型可燃ごみは、恋路クリーンセンターに搬入し不用品は、市許可収集運搬業者へ搬入する。

時には高価な物の分解処理を

することもあり、心が痛みます。これからも元気で働けることに感謝し、地域社会に貢献していきたいと思っています。



久保2班
兼森照男
(イベント班)

老後は、体を動かすこと、頭を使うことが大切と思い平成14年に入会し、イベント班に所属しています。

内容としては会場設営等多岐にわたる共同作業を協力しながら進めます。

特筆すべきは、各人が持ち味を生かし、「ケガと弁当は自分持ち」で安全に気を配り作業したことです。

「年をとっても気はまだ若い」でカラオケ・パソコン同好会で活動しています。

又老けてはならぬと、川柳の句作にも励んでいます。

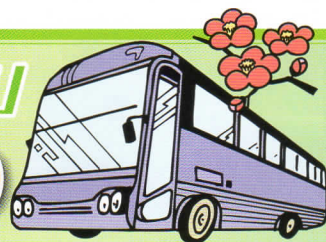
人付き合い

今日の不愉快

今日捨てる

会員親睦 日帰りバス旅行「安芸の小京都」

竹原散策と西条蔵元めぐり



3月15日(日)、51人の参加のもと朝ドラ「マッサン」ゆかりの竹原、梅まつり開催中の三景園、西条の銘酒蔵元を巡る日帰りバス旅行を楽しみました。

竹原 町並み

江戸時代後期に製塩、酒造業で栄えた屋敷や由緒あるお寺など往時の町並みが今もそのまま保存されている上市・下市を地元ボランティアガイドの説明に耳を傾けながら散策しました。

朝ドラ「マッサン」ゆかりの竹鶴酒造や棒瓦屋根と塗りごめ壁の家々、この町の時代を超えた雰囲気、心を和ませたあとは、近くの「ホテル大広苑」の和食レストランに移動、峠下牛ステーキ御膳に舌つづみを打ちました。



三景園 梅まつり

広島空港開港を記念して22年前、隣接地に造られた回遊式庭園。

大きな人工池の周囲には自然林を生かした築山や宮島を連想させる数寄屋風水上建築「潮見亭」などが、あたかも一世紀以上も前からあったかのような風格と佇まいを醸し出している園内を三々五々散策、今が盛りの紅梅や手入れの行き届いた松などに日頃の疲れを癒されました。

西条 銘酒のふるさと

旧山陽道に軒を連ねる賀茂鶴や白牡丹・福美人・亀齢などの多くの酒蔵。

地元ガイドの案内で賀茂鶴酒造を訪れました。DVDでお酒が出来るまでの過程を鑑賞したあとはお待ちかねの試飲。帰宅に車を運転しないで済む人はここで醸造される各銘柄のお酒を存分に飲み比べ、それぞれ好みのお酒を買い求め、帰宅後の一杯を楽しみにバスに乗り込みました。

研修会及び親睦会

3月1日(土)

駅南市民交流センター(きらぼし館)



今年度の研修会及び親睦会は、81人の参加のもと実施されました。

研修は、ビデオ「望ましいコミュニケーションのために」と「あなたのまちのシールバー人材センター」の2編を鑑賞、お客様への心のこもった対応の大切さを改めて認識しました。

親睦会では、「真山龍太郎浪曲歌謡ショー」や「カラオケ演芸大会」が賑やかに繰り広げられました。

恒例のお楽しみ抽選会は、市長・理事長が抽選に立会い、当選番号が読み上げられるたびに拍手と歓声で大いに盛り上がりしました。

カメラポ 1/26(金)
第五回地区懇談会
(花岡地区)



カメラポ 3/1(木)
会員親睦会&
研修会



カメラポ 3/12(木)
共同作業



カメラポ 3/15(日)
日帰り親睦旅行



表紙によせて

新緑の下松市の水瓶である、米泉湖は、周囲約5 Kmの全国的にも珍しい、ロックフィル工法で作られたダム湖です。

この日は、ダム湖周辺の公園内を、『米泉湖管理班』の作業が、真っ只中で、夏の様な日差しの中、除草作業に汗を流されていました。

市民の皆様の、憩いの場としての米泉湖は、このような地道な作業のお陰で保たれていることを、あらためて感謝し、安全就労で頑張っていただきたいと思いました。

編集後記

会員の皆様方のおかげで、去る5月29日(金) 定時総会も無事終了し、広報委員会も、新メンバーを迎えさらなる飛躍を目指して頑張っていきます。

「星のさと」は、会員相互の情報交流誌として、これからも読み易く、親しみ易い広報誌として、取り組んで参ります。皆様方の、きたんのないご意見をお待ちしております。

広報委員一同